

Q. 地震の影響を見て 検討しては

A. 早期に行うことが望ましい



くまざわ なおき
熊沢直紀 議員

KUMAZAWA Naoki

◎ 中学校は現在の場所で仮設校舎を作り、建て替える

と決定した。しかし、現在の中学校は、耐震補強や空調設備、トイレ改修など総額約8億7千万円をかけ運営をしてきている。

当局は今後40年間に公共施設などの改修・建て替えにかかる費用の総額を328億円（青山区防災拠点豊山エリアの実質設備費約38億円は入っていない）と示され、今後、財政運営が緊迫してゆくとのこと。よって、スカイプールを廃止とのこと。

本当に60年で建て替えが必要か。耐震工事も行い、まだ本体がしっかりしており、もう60年ほど延命させるべきではないか。

2024年7月に校長と教育委員会事務局長同伴のもと、豊山中学校を見学したが、内装が雨漏りにより、部分的にはがれていたり、さびている箇所が見受けられたが、部分的な補修で十分と考える。学校本体は頑丈であり、内装

外装を塗りなおせば新築同様になる。

耐用年数は高品質の場合は80年から120年とされている。

2024年7月の23日から25日にかけ珠州市と輪島市の小中学校数校を視察したが、民家の倒壊はひどいものであったが、マグニチュード7.6、震度7の震災にあってもびくともせず普通に運営をされていた。豊山町は震度6弱とのこと。

世間では2030年までに南海トラフ地震が必ず起こるといわれている。南海トラフ地震の影響を見てから検討するのが適切と思うが町長の所見を問う。

◎ 教育委員会事務局長

改築時期は現在検討中で、できる限り早期に行つことが子どもたちにとって望ましいことであると考えている。



休止となったスカイプール

Q. プールの廃止は必要なのでは

A. 廃止の考えは変わっていない

◎ 豊山小中学校の建て替えが数十年先になれば、今後40年で328億円の問題は解消され、プールを廃止する必要がなくなるのではない

か。ここ数年で約6000万円の修繕費をかけ運営してきた築33年のプールを閉館するのは、子ども施策の後退となるのではないか。給食センター同様跡地利用も見いだせず放置しておくのか。

公共施設を有効利用してゆくのが行政の務めではないか。町長の所見を問う。

◎ 教育委員会事務局長

これまで答えたとおり廃止の考えは変わっていない。

◎ 町長

プールの跡地の活用も含め、方向性が決まるまでは休止とする。